

平成 24 年 3 月 14 日  
九州旅客鉄道株式会社

### 3 月 13 日発生 架線支障による九州新幹線の輸送障害概況について

この度は、九州新幹線において大幅な輸送障害を発生させ、ご迷惑をお掛けした皆様にご心よりお詫び申し上げます。今後、原因を究明し必要な対策を講じてまいります。

現在判明している概況は以下の通りです。

#### 1 時系列

15 : 34

- ・ つばめ 348 号運転士が、久留米～筑後船小屋間において、上り架線横の電柱の上に 2 m 四方のビニール（黒色）が引っ掛かっているのを発見。運転に支障なし。

16 : 01 頃

- ・ さくら 557 号運転士が、久留米～筑後船小屋駅間において、架線に支障物を発見、直ちに停止手配を取ると同時に保護接地スイッチを押して停止
- ※ 保護接地スイッチ・・・架線の送電を停止させ、周囲の列車を停止させる装置

16 : 20

- ・ 指令と打ち合わせの上、保護接地スイッチを解除しようとしたが不能

17 : 20

- ・ 上り線の送電を停止

18 : 13

- ・ 車両の屋根上で運転士が手動により、保護接地スイッチを解除
- ・ 工務社員が支障物の撤去完了

19 : 20

- ・ 送電を再開させるため、パンタグラフを手動で下げた。

19 : 42

- ・ 上下線で送電を再開
- ・ パンタグラフを動作させる電源が低下したためパンタグラフが上がらず、自力走行不能と判断、救援列車の手配を決定

20 : 33

- ・ 救援列車（後続のさくら 421 号 8 両編成）が現地に到着、連結作業開始

22 : 07

- ・ 筑後船小屋駅に向けて移動を開始

22 : 34

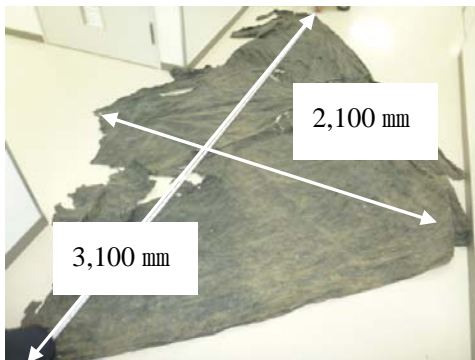
- ・ 筑後船小屋駅到着、お客さま降車、乗り換え

0 : 04

- ・ 救援列車のさくら 421 号が筑後船小屋駅を発車（下り再開）

## 2 支障物の概要

### (1) 架線に引っ掛けていたもの



### (2) 高架上、線路脇に落ちていたもの



## 3 原因

- (1) 保護接地スイッチが解除できなかった原因については調査中です。
- (2) パンタグラフが上がらなかった原因はバッテリーの電圧低下のためと思われます。

## 4 影響人員等

【運休】 45本（下り24本、上り21本）

【遅れ】 28本（下り15本、上り13本）最大471分

【影響人員】 約9,000名

【列車ホテルの利用状況】

博多駅 883系7両編成 ご利用 約70名

熊本駅 800系6両編成 ご利用 約110名

## 5 今後の対策

今回の原因を究明し、再発防止の徹底を行うとともに、今回の事象をふまえた教育及び訓練を実施していきます。